

されたる森藤山田両組員は若務係に二十日間を亘りて並禁暴行に所轄  
毎夜日白神恩外三忌本忌手当と交りて共ト使束され資傷者若所  
に組合若務主事の多管を禁止する等相田炭坑の暴力行為は勿論なるも所轄禁暴  
署の所置も怪しからぬことである。

### 二 総田六坑事件

本年四月二十七日福岡縣嘉穂郡庄内村三妻総田六坑に於て傳單野村中の組  
員藤田務、龜岡正雄の両君と同坑若務係八名の暴行が不意に襲撃を被り棍棒を  
以て乱打、藤田君は全身に、龜岡君は頭部兩腕に夫々治療日数十日間の負傷を受け  
た。

### 三 二瀬鉱業所中央炭坑の暴力事件（百十抗争中）

製鉄所二瀬炭坑は日本製鉄株式會社の成立より、民営移管となる迄、合同會社  
成立後減價整理を行はざるを以て、株働債金を現在以下に低下せしむるを以て外九項に亘る  
労働條件に関する言明をなしたるに、最近と作る労働強化、賃債金の低下に就き去る  
六月四日警告的ビラを中央炭坑に於て撒布中組合員藤田務君、若岡恩竹村君は  
突如三名若務係に襲撃され藤田君は全身血まみれの重傷を受けた。組合では藤田君  
を大塚病院にて緊急手当し、二瀬鉱業所中央炭坑に入院せしめた。更に去る九日、二  
瀬鉱業所当局の暴力糾弾のビラ撒布中、又々中央炭坑若務係の襲撃を受け、高  
林三郎、松田運太、毛利教夫の三名は負傷し、更に同鉱業所漆野坑に於て、平山三徳  
森軍一の両君も若務係の襲撃に傷れた。

二瀬鉱業所は昭和六年の大争戦以来暴力行為となすも、今回で三回、古田同鉱業  
所若務課長は既に昭和六年以来、我が組合に對し暴力行為の禁止を誓約しなかり再三  
に亘る要切り違約に、我が組合は奮然として二瀬鉱業所の徹底的膺懲の戦列を布足  
のである。

今回事件は一炭坑の不祥事ではあるが、暴力を以て労働組合を破壊せしむるは筑  
豊全坑の支配的イデオロギイである。我々炭坑業の真性を鑑み健全なる労働組合  
の組織と統制を通じ労働階級の協力を以て炭坑の發展平和を固る進歩的資本家に  
は産業協力の責を負ふが積送、無理難題に於て殊に暴力を以て労働組合を圧迫し坑夫の  
生活を永遠に奴隷の鉄鎖に懸けつづるが如き資本家は徹底的に戦はさるべし。

国家産業擁護の大旗掲げ産業協力の大道漸く拓けんとする筑豊の炭田に於る炭坑  
団外の暴力非難の戦線を開いた我々に全口同志諸君の圧倒的支援を乞ひ、天下の  
正義批判と對し我々の決定的勝利に御高望を頼むと敢へて茲に飛散する者である。

わが人の三、幾層の戦に於て筑豊の全坑から暴力を一掃せよ！